

# 日建連表彰土木賞受賞プロジェクト講義を実施

日建連は、二〇二二年十二月二十日、早稲田大学理工学術院において、土木を学ぶ大学生、大学院生を対象に日建連表彰土木賞（以下、土木賞）受賞プロジェクトの概要、技術、施工プロセスなどを紹介する講義を実施した。

土木賞は、六〇年余の長きにわたり、わが国の優れた建築物を表彰してきた「BCS賞」に並ぶ新たな表彰として創設したもので、二〇二〇年の第一回表彰以来、社会基盤として国民生活と経済活動を支える土木分野の優れたプロジェクト・構造物を表彰している。出来上がった構造物だけでなく、事業企画から設計・施工、維持管理までを視野に入れ、施工の過程で直面する様々な問題を解決しながら、関係者が一丸となり、現場で要求される品質をいかにクリアしたかが選考の視点となる。

今回の講義は、土木賞を周知する

とともに、大学生の建設業への入職に対する関心を高めるため、土木賞選考委員会委員の強い要望により企画されたものである。過去三回で受賞した三四プロジェクトのうち、学生が興味を持ちそうなプロジェクトを各年から一件ずつ選定し、当時の現場所長をはじめ仕事を直接担当した責任者が講師となり、パワーポイント資料や映像などを映写しながら丁寧に説明を行った（選定プロジェクト及び講師は表のとおり）。

いずれも最先端土木技術の活用や迅速な災害復旧に取り組んだ日本有数の土木工事であり、社会経済発展に資するとともに、安全・安心な国土づくりに貢献する建設会社の活躍を実感できる内容であった。出席した学生からはBIM/CIM、VR、無人化施工などの取組みや今後の展開に関する質問が相次

ぎ、関心の高さがうかがえた。また、施工中に遭遇した数々の課題にどのように対応したかというナマの苦労話に感銘を受けた様子であった。今後は、この講義を録画・配付し、他の大学の講義でも活用していただくことを予定している。更に、大変好評だったことから、来年度は本講義を複数の大学他で開催するなど、土木賞のPRを一層積極的に推進していく方針である。



	選定プロジェクト	講師
第1回表彰 2020年	阿蘇大橋地区斜面防災対策工事	中出剛 （株）熊谷組土木事業本部土木設計部長
第2回表彰 2021年	鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事	長谷川悦央 清水建設（株）土木技術本部ダム統括部長
第3回表彰 2022年	東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事	池田仲裕 東急建設（株）都市開発支店鉄道土木部D.T.I推進事務所所長

## 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事

i-Constructionを活用した  
迅速・安全な大規模災害復旧



2016年熊本地震で崩壊した南阿蘇村の斜面対策工事。二次災害を防ぎながら緊急の防災対策を講じることが求められ、無人化施工を現場に全面展開。調査・設計・施工プロセスをデジタル化により一体化し、全工程においてi-Constructionと連動した緊急時の新たな事業マネジメントを実現した。

## 鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事

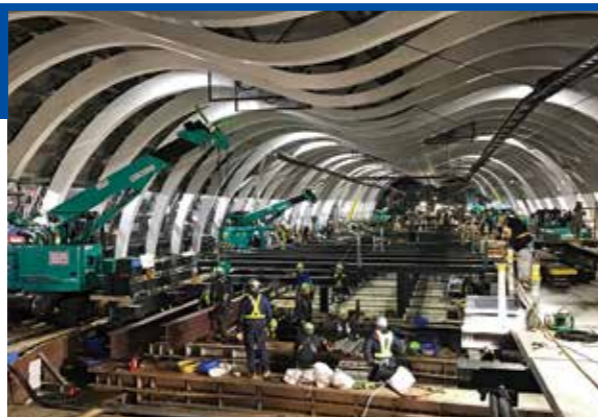
運用中のダムにトンネル洪水吐を新設する  
非常に難易度が高い工事



事前に詳細な調査と設計を行い、高度な施工技術で高難度の工事を無事完了させた。既設の施設を改良することで、肱川流域の大洲盆地において度々発生してきた洪水被害を防止するのに大きな効果をあげており、これからの土木プロジェクトのあるべき姿を示している。

## 東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事

鉄道営業線大規模改良工事における  
BIM/CIMの実践



日本有数の繁華街「渋谷」の中心で、周囲を商業ビルなどに囲まれた狭い立地条件の下、同位置で鉄道営業しながら旧構造物を撤去し新構造物を構築。更に、土木だけでなく、軌道、信号、通信、電力の工事関係者、新ホームに必要な建築・駅設備、駅員、乗務員と協議、合意形成を行い、BIM/CIM、VR技術を駆使して限られた時間内に難しい条件下での工事を成し遂げた。